

## ウォーターフロント都心地区における都市開発について (小倉駅新幹線口地区における北九州市の取組状況について)

### 1 施設の整備

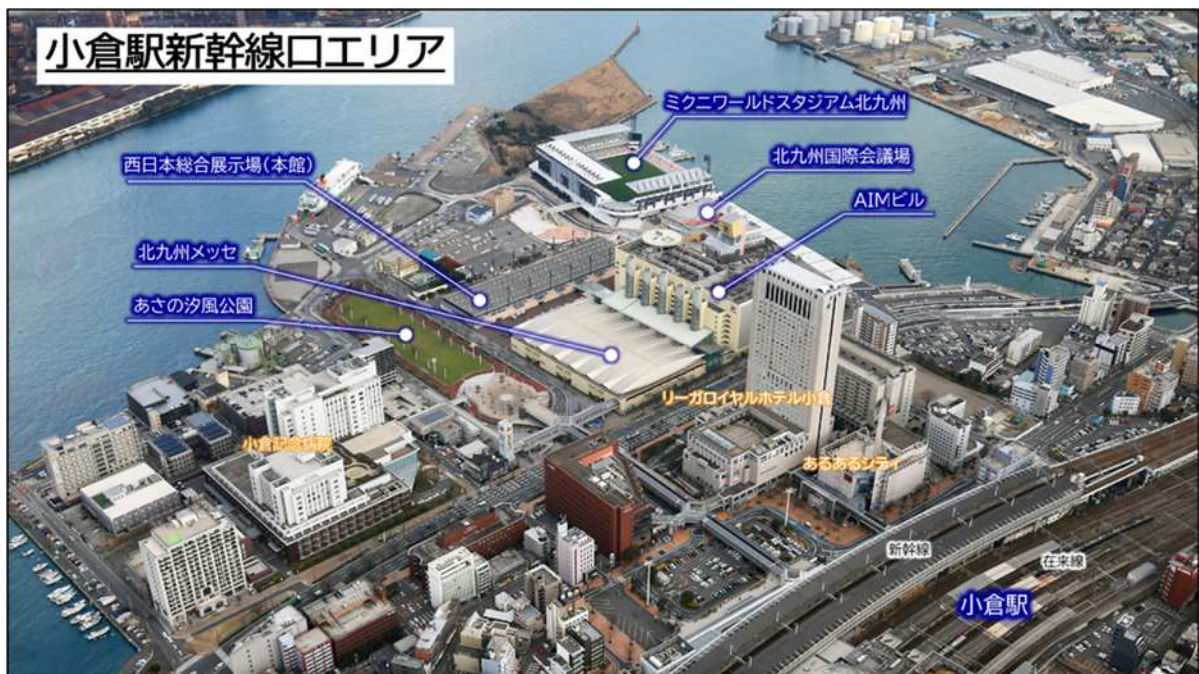
小倉駅新幹線口地区の整備については、コンベンション施設や都市基盤施設の充実による国際交流拠点の形成等を目的に、平成3年3月に「小倉駅北口地区整備構想」を策定し、改定等(直近では、平成27年度に内容を見直し、名称を「小倉駅新幹線口地区整備構想」に変更)を行いながら、官民一体でまちづくりを進めてきた。

これにより、ホテル、展示場、総合病院、スタジアム等の北九州市の中核を担う多様な施設の集積が図られ、近年、周辺では分譲マンション等の建設が進んでいる。

#### 小倉駅新幹線口で整備された主な施設

- ・西日本総合展示場本館(昭和52年)
- ・北九州国際会議場(平成2年)
- ・リーガロイヤルホテル小倉(平成5年)
- ・北九州メッセ(平成10年)
- ・AIMビル(平成10年)
- ・小倉記念病院(平成22年)
- ・あさの汐風公園(平成23年)
- ・ミクニワールドスタジアム(平成29年)

※( )は竣工年



## 2 施設を活用した集客・にぎわい創出

上記施設を活用し、国際会議や大規模イベントを誘致・開催することにより、小倉都心部における集客・にぎわい創出に取り組んでいる。

### (1)MICE

これまでに多くの国際会議、展示会等が開催されており、平成27年度には、国からグローバルMICE強化都市に選定された。

MICE誘致活動を推進してきた結果、令和6年度には、北九州市での国際会議開催件数が、都市別ランキングで過去最高の国内6位(前年16位)を記録するなど、国際MICE都市としてのプレゼンスを高めている。

令和6年度に北九州市内で開催された国際会議

- ・電気工学技術国際会議(ICEE conference2024)
- ・2024 第15回アジア化学センサ国際会議 など

### (2)エンターテインメント

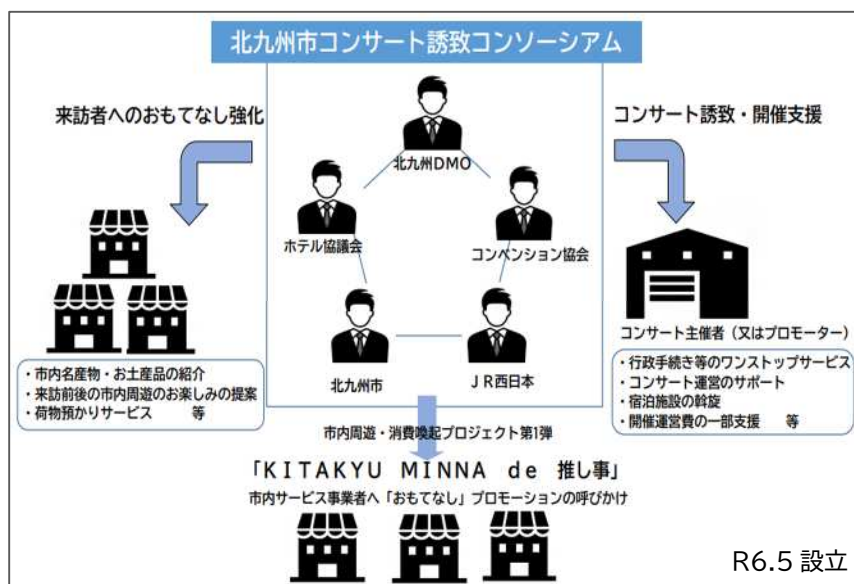
#### ①コンサート

小倉駅新幹線口地区が持つ、コンサート開催地としての高いポテンシャルを引き出し、開催に伴う観光・宿泊客数と市内消費額の増加により、地域の活性化を図ることを目的として、令和6年5月に官民が連携した「北九州市コンサート誘致コンソーシアム」が発足した。

この取組を契機に、人気アーティストによるコンサートが開催されるなど、広域からの集客が図られている。

令和6年度及び令和7年度に北九州メッセで開催された主なコンサート

- ・NiziU(令和7年2月、令和8年3月)
- ・XG(令和7年3月、令和8年4月)
- ・LE SSERAFIM(令和7年6月)
- ・[参考] Vaundy(令和8年9月予定)



## ②大規模スポーツ大会

大規模スポーツ大会の誘致・開催により、国内外から多くの来街者が訪れ、小倉都心部ににぎわいが創出されるとともに、観客や選手・大会関係者に対し、北九州市の観光スポットや食の魅力をPRできる絶好の機会となっている。

近年、小倉駅新幹線口で開催された主な大規模スポーツ大会

### 北九州メッセ(西日本総合展示場新館)

○買取大吉バレーボールネーションズリーグ2024福岡大会(男女各6日間開催)

[開催年月]令和6年6月 [来場者数](男子)45,129人、(女子)39,392人

○ワールドスケートボードツアー ストリート2025北九州

[開催年月]令和7年11月 [来場者数]7,316人

○B.LEAGUE 2025-26 B2 リーグ戦 ライジングゼファー福岡(2日間開催)

[開催年月]令和8年1月 [来場者数]13,566人

[開催年月]令和8年4月 [来場者数]13,771人

### ミクニワールドスタジアム北九州

○ラグビー女子

太陽生命ウィメンズセブンスシリーズ 2024(7人制)

[開催年月]令和6年4月 [開催年月]2,858人

太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2024(対アメリカ代表)

[開催年月]令和6年8月 [開催年月]2,300人

○ラグビー男子

日本代表戦 リポビタンD チャレンジカップ 2025(対ウェールズ代表)

[開催年月]令和7年7月 [開催年月]13,487人

## ③ギラヴァンツ北九州

サッカーJ3リーグに所属するギラヴァンツ北九州は、平成29年からミクニワールドスタジアム北九州(北九州スタジアム)をメインスタジアムとして、年間約20試合の公式戦を行っており、令和7年シーズンの1試合平均観客数は約5,500人となっている。

小倉駅から徒歩約10分というアクセスの強み等を活かし、小倉都心部のにぎわいを創出している。

## (3)その他

大規模なエンタメイベント会場の地位確立を目指し、令和7年11月15日から、西日本総合展示場新館の通称名を「北九州メッセ」として運用を開始した。